

全国有力100社 アンケート調査 「やや弱気」が63%でトップ 「弱気」が19%で2位 弱基調は82%に
7月の鉄スクラップ相場動向

弊紙実施の100社アンケート「7月の相場動向」の結果がまとまった。全体(電炉、商社・シッパー、市中業者、全ての合計)の結果は、「やや弱気」が63%で最も多かった。次に多かったのは「弱気」で19%。両者を合わせた82%が弱基調の回答となった。3番目に多かったのは「横ばい」で16%。なお強基調の回答は、いずれも少数にとどまった。

◆業種別～各業種とも「やや弱気」が5割超を占める。

電炉メーカーは「やや弱気」が62%を占めた。「横ばい」は23%、「弱気」は15%だった。商社・シッパーは、「やや弱気」が55%で最も多かった。「横ばい」は27%、「弱気」は18%だった。市中業者のトップもやはり「やや弱気」で64%を占めた。「弱気」は20%で次に多く、84%が弱基調の回答となった。「横ばい」は12%。「やや強気」と「強気」は、ともに2%だった。

◆地域別～各地域とも5割以上が「やや弱気」。東日本と西日本は8割方が弱基調の回答。

東日本は「やや弱気」が59%でトップ。次に多かったのは「弱気」の24%で、これら弱基調の回答は83%を占めた。「横ばい」は14%、「強気」は3%だった。

中部・東海は「やや弱気」が50%でトップ。「弱気」は20%で、弱基調の回答は70%となった。「横ばい」は2番目に多く30%を占めた。

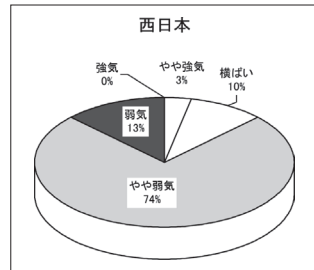
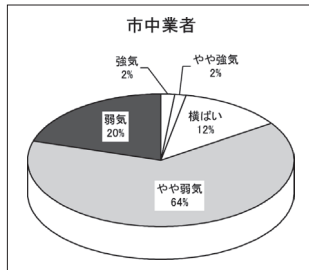
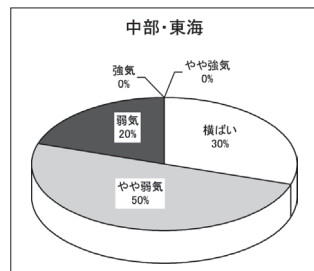
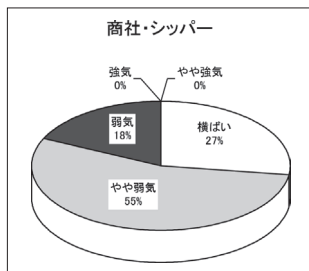
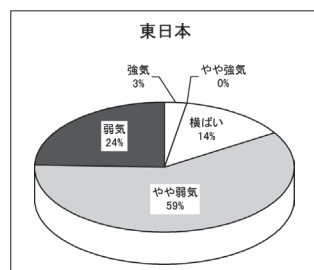
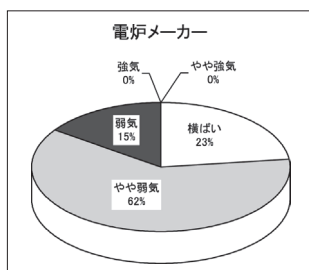
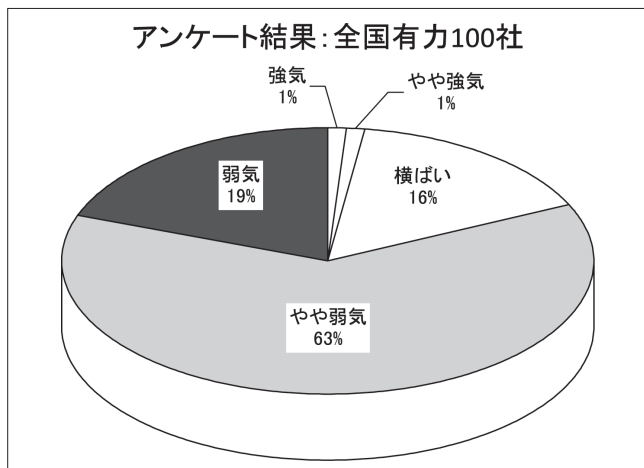
西日本は「やや弱気」が74%で最も多かった。「弱気」も13%と2番目に多く、弱基調の回答は87%を占めた。「横ばい」は10%、「やや強気」は3%だった。

<個別コメント(一部)>

・国内は7～8月の電炉減産および高炉の市中屑購入の減少で弱気配、韓国は原料在庫の過剰と電力制限による大幅減産で期待薄。ただ、米国とトルコが価格上昇気味で(ラマダンに入るので極端な動きはないと思うが)相場の下支えになるのではないかと。

・韓国を含めた海外市況が弱含み様相ではあるが、国

内市中屑発生が低調なために、メーカー側もスクラップ集荷に苦戦し、価格を下げられない状況が続くと見込まれる。



Innovation for further growth
 製鋼原料卸・計量証明事業

株式会社 **ミヤザキ・メタルサービス**

MIYAZAKI <http://www.miyazaki-metal.com>

本社 大阪市淀川区三国本町1丁目17-19
 TEL(06)6393-8401(代) FAX(06)6399-0313
 ISO14001認証取得

野中工場 大阪市淀川区野中北通1-1
 TEL(06)6393-8027

三重支店 三重県伊賀市予野4938-120
 TEL(0595)20-1601 FAX(0595)20-1602
 ISO14001認証取得

エコ・リサイクルラボ 三重県伊賀市予野4949-15

【全国有力100社アンケート調査概要】
 ■回答方法:7月の鉄スクラップについて「強気」「やや強気」「横ばい」「やや弱気」「弱気」から選択回答
 ■対象:100社(業種別:メーカー12社、商社・シッパー16社、市中業者72社)(地域別:東日本40社、中部・東海20社、西日本40社) ■調査期間:6月26日～7月3日 ■回答率:88.0%(東日本92.5%、中部・東海100.0%、西日本77.5%)